

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成26年7月25日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 京都府城陽市富野荒見田80番地	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） サントリー食品工業株式会社 宇治川工場 代表取締役社長 古谷 啓 代理人 宇治川工場 常務取締役工場長 塚本 祐二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	清涼飲料水、乳飲料の製造
導 入 年 月 日	平成15年 3月 2日
認 証 番 号	EMS 510961
基 本 方 針	5項目を環境マネジメントシステム（以下EMS）の推進により実行：①水のサステナビリティの実現 ②イノベティブな3Rの推進による資源の徹底的有効活用 ③全員参加による低炭素企業への挑戦 ④社会との対話と次世代教育 ⑤Good Companyの追求
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	炭酸ガス排出量抑制：CO2原単位 前年比0.3%削減 廃棄物の減量化：前年度7.5%削減（廃棄ペットボトル） 廃棄物の適正処理化：処分場100%視察
目標を達成するための取組の内容	炭酸ガス排出量抑制 工場上位方針に基づき組織的に省エネ活動を実施。 （蒸気ドレン回収率向上、ボイラー濃縮ブロー水排熱回収等） 廃棄物の減量化 ラントラブルによる廃棄ペットボトルの削減活動実施。 廃棄物の適正処理化 毎月計画的に処理場の視察をし適正処理状況の確認を実施。
目標を達成するための取組の進捗状況	炭酸ガス排出量抑制 計画した案件の改善実施済み。前年比7%削減。 廃棄物の減量化 不良品流出防止対策に伴い作業変更し悪化。前年比10%増加。 廃棄物の適正処理化 計画どおり視察100%実施。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	廃棄物の減量化は達成できなかったが、当初から計画していた省エネルギー改善を実施することができ、原単位の削減ができた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規の遵守状況について1ヶ月に1回の確認を行っている。 また、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 平成25年度は、現行の取組内容により一定の成果が見られたことから、平成26年度も同一のシステムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。